

平成25年度第4回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 平成26年1月16日（木）13:30～14:45
場 所 事務局第一会議室
出席者 上井学長、加藤理事、山口理事、池原理事、堀理事
佐々木委員、福田委員、丸山委員
欠席者 塩川委員、土肥委員、中井委員、吉岡委員
陪席者 檜枝監事、西田副学長、八木副学長、睦好副学長、伊藤教養学部長、齊藤教育
学部長、薄井経済学部長、佐藤理工学研究科長・工学部長、坂井理学部長

◎ 前回議事要録の確認

平成25年度第3回国立大学法人埼玉大学経営協議会（平成25年11月15日開催）
議事要録（案）の確認が行われ、了承された。

◎ 報告事項

1 国立大学のミッションの再定義について

加藤理事から、工学分野及び教員養成分野のミッションの再定義の結果について概要を説明後、その他の分野については、文部科学省と協議中である旨説明があり、引き続き、学長から、「国立大学改革プラン」について配付資料に基づき、説明があった。

主な意見は次のとおり

- ミッションを実現するには、各論が如何に魅力的であるかがポイントである。地域のシンクタンクへこのようなことを行う、グローバル人材の育成をこのように行う等各論が見えてきたら、きめ細い広報をお願いしたい。

上記意見に対して、学長から、ミッションの再定義については、エビデンスに基づいて再定義することとなっており、例えば、こうやりたい、こうしたいというものを記載するものではないこととなっていること、どれだけの実績があるのかをベースとして再定義を行うので、文科省と相当協議をしなければならないこと、あまり具体的な内容が記載できないこととなっており、これを基にしてさらに飛躍させるためにどのようなことを行うかが改革の課題となっていること、一方で改革を加速しなければならないことから、本学ではこの間文科省と協議を行ってきた強化戦略にその中身を反映できるよう順次盛り込んでいる旨、説明があった。

また、ミッションの再定義を見るとある程度の内容は解るが、地域の眼から見るともう少し具体化しないと中々見えてこないもので、そこがこれからの改革の課題である旨説明があった。

2 平成25年度補正予算の内示について

池原理事から、平成25年度補正予算の内示について、配付資料に基づき、報告があった。

3 平成26年度予算の内示について

池原理事から、平成26年度運営費交付金等の内示額について、配付資料に基づき、報告があった。

主な意見は次のとおり

- これからの大学間の競争激化に対応できるシーズを常に見つけて行かなければならないと思うが、学長のリーダーシップ発揮のための特別措置枠、授業料免除枠のうち取組支援加算分について、大学としてどのようなことを考えているか説明願いたい。

上記意見に対し、山口理事から、本学の特色がもっと見えるような形にして、補助金を運営費交付金での支援の方に振り替る策を取っていくこと、学長のリーダーシップ発揮のための特別措置については、一つに年俸制の導入があると理解しており、本学としては年俸制をできる範囲で積極的に導入してこの特別措置に対応し、それをベースに研究力強化を図るシナリオができると考えていること、授業料免除枠については、戦略的基金の設置及び拡充、ホームカミングデーの開催等が考えられ、本年度、新たに埼玉大学基金を設置し、ホームカミングデーが開催されており、それをベースにこの予算を確保すべく検討を進めて行きたい旨説明があった。

4 財務レポートについて

池原理事から、本学の取組を国民及び関係者に広く公表することを目的として作成している財務レポートの平成24事業年度版について、配付資料に基づき、説明があった。

◎ 審議事項

1 中期計画の変更について

西田副学長から、平成26年度からの大学院理工学研究科博士前期課程の入学定員改訂に伴い、中期計画の別表（収容定員）の該当部分について変更を行う旨、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

2 学内予算によるプロジェクト事業について

池原理事から、平成25年度学内予算によるプロジェクト事業について、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

◎ その他

1 次回日程（平成26年3月27日（木））

学長から、開催時間については、改めて各委員の都合を調整したい旨の連絡があった。